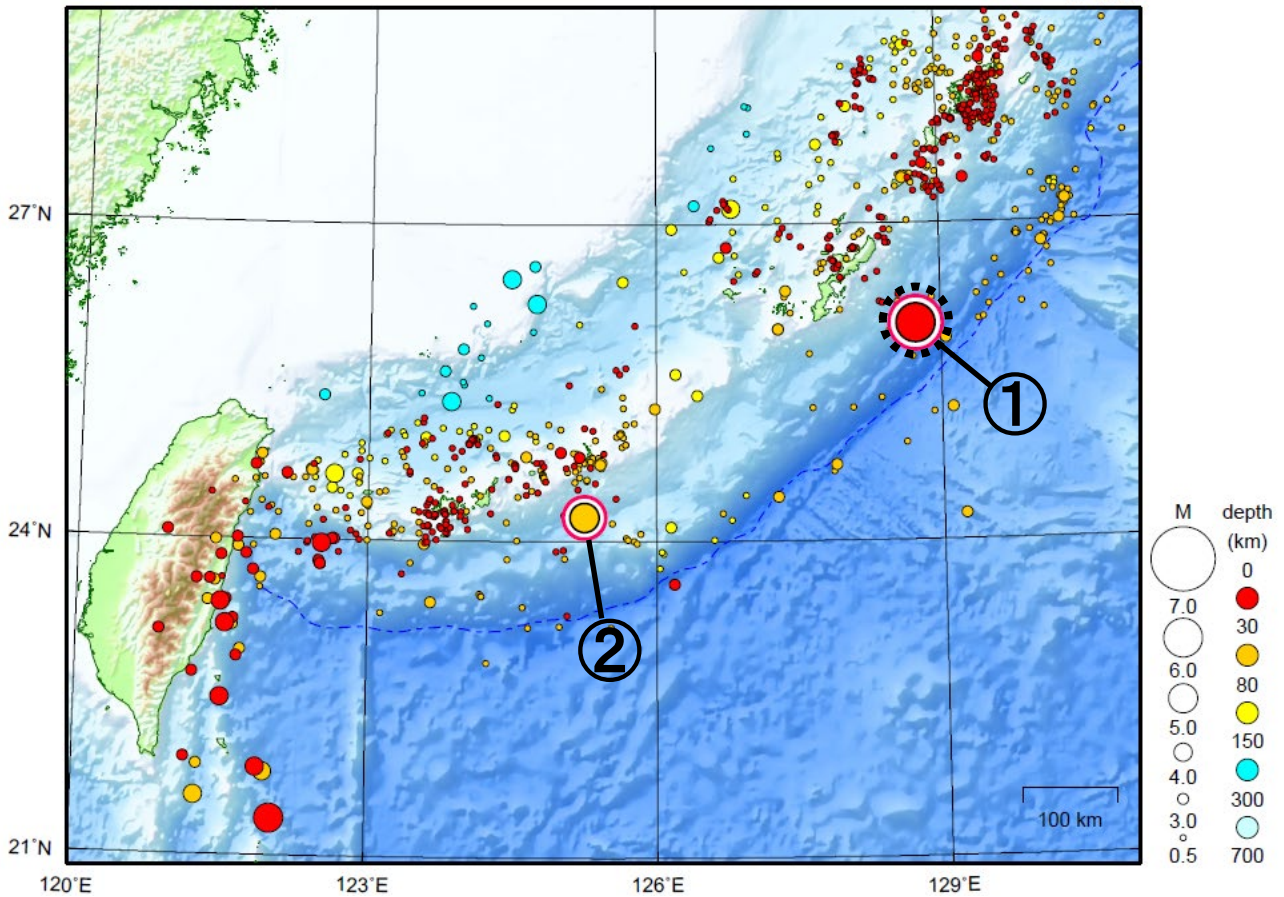


沖縄地方

2023/05/01 00:00 ~ 2023/05/31 24:00

N=1235



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

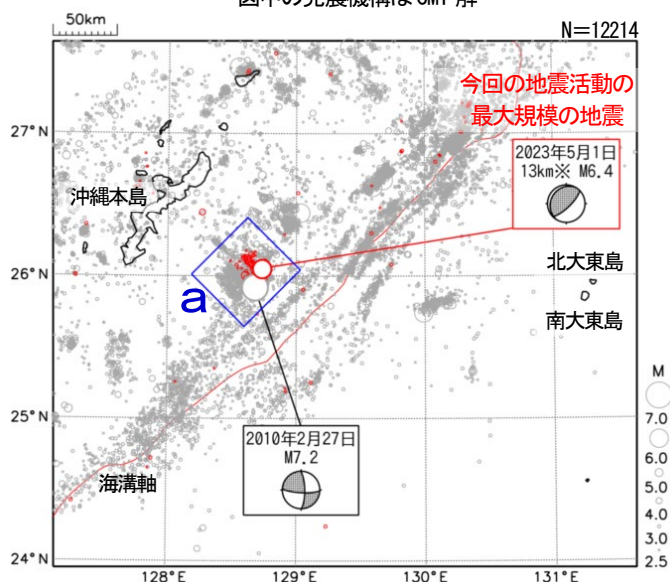
- ① 5月1日に沖縄本島近海でM6.4の地震（最大震度2）が発生した。沖縄本島近海では、4月27日から地震活動が活発になり、4月27日から5月31日までに震度1以上を観測した地震が8回（震度2：3回、震度1：5回）発生した。
- ② 5月11日に宮古島近海でM5.9の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

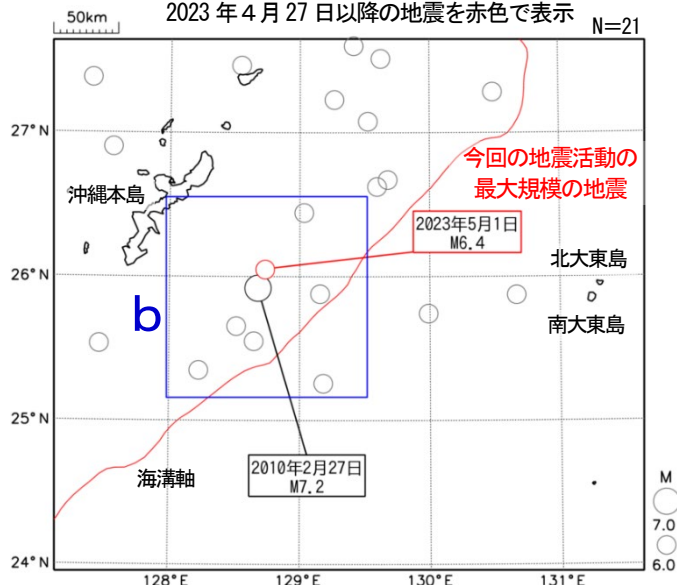
沖縄本島近海の地震活動

震央分布図
(2000年7月1日～2023年5月31日、
深さ0km～90km、 $M \geq 2.5$)
4月27日以降の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解



※深さはCMT解による

震央分布図
(1919年1月1日～2023年5月31日、
深さ0km～200km、 $M \geq 6.0$)
2023年4月27日以降の地震を赤色で表示

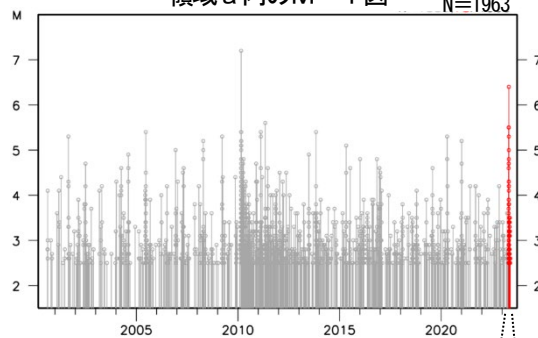


2023年5月1日12時22分に沖縄本島近海の深さ13km (CMT解による) でM6.4の地震 (最大震度2) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震の震央付近 (領域a) では、4月27日から地震活動がやや活発になり、4月27日から5月31日までに震度1以上を観測する地震が8回 (震度2: 3回、震度1: 5回) 発生した。

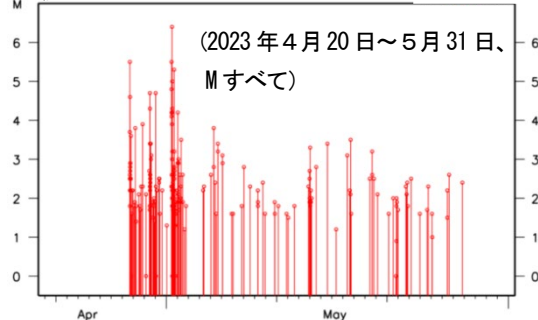
2000年7月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域a) では、2010年2月27日にM7.2の地震が発生し、軽傷者2人、住家一部損壊4棟などの被害が生じた (総務省消防庁による)。また、この地震により南城市安座真で13cm、南大東島漁港で3cmの津波を観測した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、M6.0以上の地震が時折発生している。

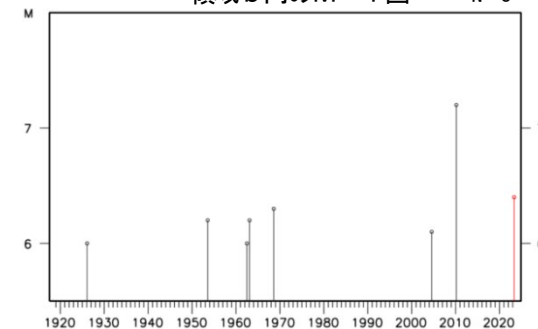
領域a内のM-T図 N=1963



N=208



領域b内のM-T図 N=8



(この期間は検知能力が低い)

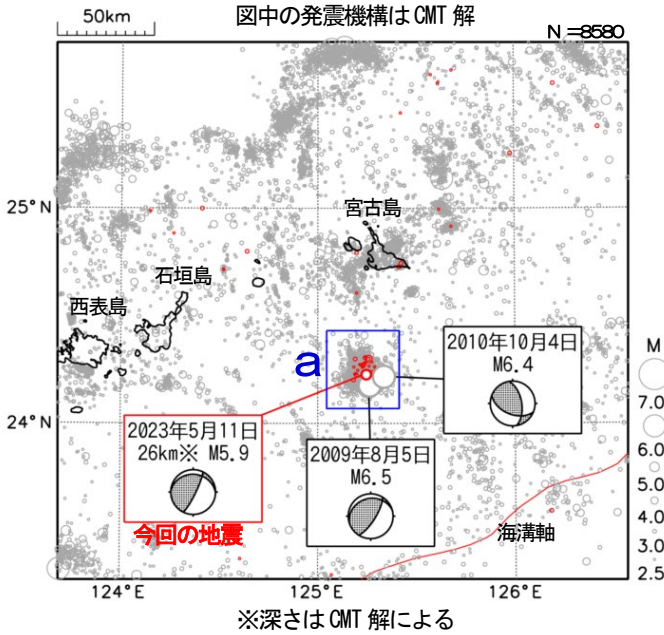
気象庁作成

5月11日 宮古島近海の地震

震央分布図

(2000年7月1日~2023年5月31日、
深さ0km~100km、 $M \geq 2.5$)

2023年5月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解

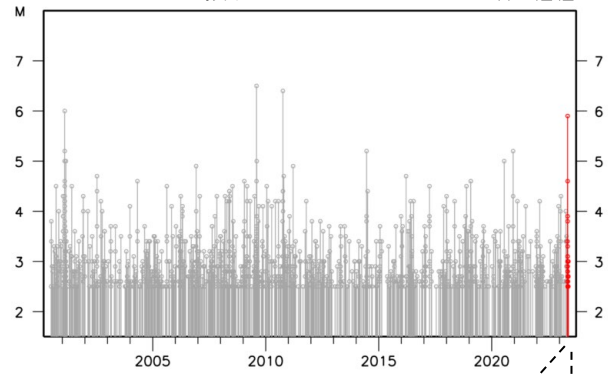


2023年5月11日22時33分に宮古島近海の深さ26km (CMT解による) でM5.9の地震 (最大震度3) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は北西-南東方向に圧力軸を持つ型である。

2000年7月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域a) では、2009年8月5日にM6.5の地震 (最大震度4)、2010年10月4日にM6.4の地震 (最大震度4) が発生するなど、M5.0以上の地震が時々発生している。

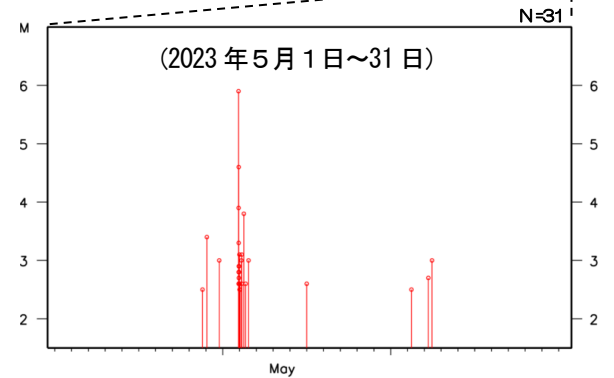
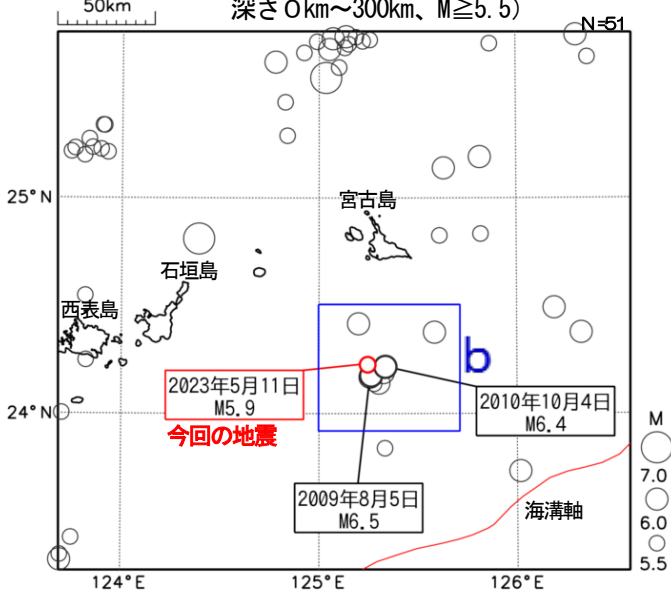
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、M6.0以上の地震が時々発生している。

領域a内のM-T図

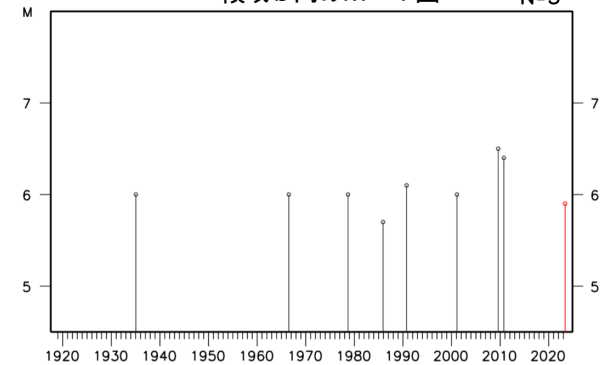


震央分布図

(1919年1月1日~2023年5月31日、
深さ0km~300km、 $M \geq 5.5$)



領域b内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)